



2022年 6月 9日発行 会報第1104号

今週のプログラム

(2022年6月9日 第1104回例会)

創立記念例会

担当：藤田 芳浩 親睦委員長

次週のプログラム

(2022年6月16日 第1105回例会)

アセンブリー

【今年度活動総括】

担当：水島 洋 会長

第1103回例会 (2022年 6月 2日) の記録

「会長の時間」

水島 洋 会長

皆さん、こんばんは。来週は24回目の創立記念例会です。

来年度に25周年記念例会が控えていますので、今年度は福島21ロータリークラブや近隣クラブをご招待することなく、ややこじんまりとしたものになるかと思えます。

先日5月12日に例会数が1100回の区切りの回数を迎えました。1100回という数字に触れると、とてつもなく長い年月を先輩諸氏は歩んでこられたのだなあ、と感じます。

「変えてはならないロータリー、変えねばならないロータリー」という事が言われますが、本日の山田会長エレクト主催の次年度アセンブリーも大きく変わった行事のひとつです。従来は例会終了後に別室に移ってアセンブリーを実施していましたが、藤田会員が単独で福島21ロータリークラブを訪問し、クラブ運営方法についてヒアリングをした結果、現在のアセンブリーの実施方法に至ったものです。

時間短縮や会場費の節約に効果があり、今後とも良い意味の変化に対応して取り組んでいきたいと思えます。山田会長エレクト、本日はどうぞよろしくお願ひします。

* * * * *

<今月のお誕生日>

高田 宗慶会員 10日

水本 徹会員 25日



HAPPY
BIRTHDAY

<ファインセッション> ¥7,773 の例会場拠金が集まりました。

木下 健治 SAA 補助



<出席報告> 木下 健治 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名

本日の出席者数 9 名

(内出席免除会員 0 名)

(内名誉会員 0 名)

本日の出席率 56.25%

5 月のホームクラブ出席率 56.25%

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌 君が代

♪奉仕の理想

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん

1. My One And Only Love

2. 煙が目にしみる

3. Can't Take My Eyes Off Of You

<幹事報告>

山本 友亮 幹事 (代読 水島会長)

1. RI 日本事務局より 6 月のロータリーレートは \$ = ¥127 と連絡がありました。

<SAA 報告>

松田 親男 SAA

※スマイルボックス

水島会員 本日は次年度アセンブリー 山田会長エレクト ご苦労様です。

※ラオス基金

黒川会員 ラオスに行こう！！

高尾会員 コメントなし

※ロータリー財団

高尾会員 来週の創立例会、楽しみです。

岸上さんが来られます。よろしくお願い致します。

相原会員 コメントなし

※米山記念奨学会

木下会員 今日はファインセッションです。

相原会員・松田会員・高尾会員 コメントなし

※メイプル基金

水本会員 次年度アセンブリー 早いですね。

松田会員 コメントなし

黒川会員 先週欠席のおわび。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆次年度アセンブリー◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

《次年度活動方針》

山田 克子 会長エレクト

次年度国際ロータリー会長ジェニファー E ジョーンズ氏が掲げたテーマは、「IMAGINE イマジン」です。

第2660地区のテーマや目標などは別の機会にお話させて頂きたいと思います。

次年度は、今までの千里メイプルRCの変わらぬ支援活動と共に、現在の会員の皆様との親睦に重きをおいて、例会を楽しんで頂きたいと考えています。

次年度各委員長の皆様のご協力と会員の皆様のお力添えをお願い致します。

活動方針を述べさせて頂きます。

※欠席や出席不可能な会員様へのご配慮や、交流を深めて頂きたいと思います。

※親睦旅行・近場での見学会や食事会の機会を作る。交通手段にマイクロバスなどを利用し、参加しやすく無理のない気楽な親睦会を目指します。

藤田親睦委員長にご負担をお掛けしますが、共に一生懸命実行に向けて努力したいと思っています。

※創立25周年記念例会は水本会員に中心になって頂き、区切り年度にふさわしい、ほのぼのあたたかく実りある創立記念例会を目指します。

※会員の卓話時間を大事にする。貴重だと思っています。仲間のお話を聞ける事は、仕事のお話であれば職業奉仕への理解に繋がり、プライベートの話であれば親睦に繋がる会員同士の交流に繋がると思います。卓話者自身を向上させるような話す側の緊張感と共に、聴く側の知識を増やしたり、仲間をもっと知ることのできる大事な時間であると思っています。

※コロナでマイナスばかりでなく、リモート交流してきたことをメリットにしていければ、と考えています。下記のような例で考えてみました。

○出張会員にお時間が許されるなら出張先からの現地出席

○人物だけでなく許される範囲の会員の職場中継をしていただければ例会場所に居ながらの職場訪問ができる

○会社の慰安旅行などで滞在先に居ながら素敵なロケーションを生中継出席。沖縄から小山会員や遊びに行かれる高尾会員のロケーション付き現地出席などお許し頂ければ希望します。

○子供食堂放課後キッズ活動支援に携わる方々の現地よりの御参加

○福島ロータリーの会員の方々の親睦交流御参加

○ラオス衛生支援の山本加奈子先生の御参加

○前財団・米山奨学生の方々の御参加で、時には母国帰国時に現地より参加のお願い

○当クラブにご縁のあった友人知人の方々や退会者の方々の御参加

そして山本加奈子先生にご相談し、いつの日かラオスの成長した子供たちの近況をラオス現地から繋がれるようになれる日がきたら素晴らしいと思っています。それができる日が来たとき、また新たな支援活動が生まれるのではないかと、想像イマジンして実行できるのも夢ではないと思います。

ビジネスやルールを大事にしながらも、臨機応変に和やかに例会で皆さんとイマジンをたくさんあたためて、次年度へバトンタッチできるよう楽しんで頂けるよう努力致します。

会員の皆様、皆さんの出席がないと寂しいので、お忙しいと思いますができるだけ出席をお願い致します。

SAA

黒川 彰夫 SAA

少人数ですが、和気あいあいと家庭的な雰囲気で開催を進行しています。

しかし馴れ合いではいけないので常に節度と品位を保たなければなりません。

会員数が増えてくれば良いのですが、人数が少ないと寂しくなりますので、皆さん是非とも例会に出席してください。

プログラム担当

松田 親男委員長

次年度もプログラム委員長を拝命致しました。例年 24 回程度となっていた卓話の回数を、今年度は 13 回にまで抑えることができました。地区から各委員会の委員長をお招きし、最新の情報をお聞かせいただき知見を広げたおかげで、卓話回数の軽減も図れました。次年度も地区からの委員を招聘するとともに（年 4 回）会員負担軽減のために、新プログラムとして、フォーラムを前期 2 回、後期 2 回の合計 4 回 企画しています。フォーラムテーマは、2023 年 6 月に予定されている「創立 25 周年プロジェクト」です。これにより、次年度の卓話の回数は 10 回程度になる予定です。次年度も粛々とプログラムを遂行いただきますよう、ご協力をお願い致します。

会員委員会（増強・選考・分類）

黒川 彰夫委員長

今年度は水島会長が会員委員長を兼任して下さっていますが、増強は大変難しい問題です。私が推薦をして入会し、現在も在籍しているのは木下 健治会員お一人です。高田会員が入会して下さった動機や経緯を知る必要があり、今後の会員増強に繋げて行き水島会長に負けないように頑張りたいと思います。

職業奉仕委員会

高尾 修委員長

本年 4 月 9 日に出席しました「次年度の為の地区研修会・協議会」での職業奉仕部門会議や 2022 年 8 月 6 日開催予定の職業奉仕委員長会議を通じて、職業奉仕をどのように進めていくべきかを考えて行きます。そして地区職業奉仕委員会委員の方の卓話を 1 月の職業奉仕月間にもお願いしたいと思います。2 月には職業奉仕フォーラムも開催し、皆様のご意見を頂きたいと思います。そして会員の皆様方のご協力を頂いて職業奉仕に努めたいと思っています。

クラブ奉仕委員会

藤田 芳浩委員長（代読 松田 SAA）

山田会長の方針を大切にクラブの運営が円滑に進むように活動していきたいと思えます。会員委員会は黒川 彰夫委員長に、情報委員会は山本 雅之委員長にご担当して頂きます。宜しくお願い致します。

親睦活動委員会

藤田 芳浩委員長（代読 松田 SAA）

親睦委員長を兼任させていただきますので会員皆様に喜んでいただける親睦活動を目指します。プログラムに従い親睦活動を企画いたします。例年 9 月の「お月見例会」が最初となります。出来ましたらそれまでに山田会長とよく相談をして例年の親睦活動に何かプラスして新しい形での親睦が出来るようなものを計画したいと思います。皆様 ご協力をお願い致します。

社会奉仕委員会

松田 親男委員長

2013年藤田会長の時に、社会奉仕委員長を拝命して以来2回目の社会奉仕委員長です。

2013年当時は薬物防止活動や吹田警察交通安全講習などの活動を行っていました。

昨今は、子ども食堂への支援が中心の活動となっています。一度子供食堂実施日に訪問して活動への協力支援ができればと思っています。

国際奉仕委員会

水本 徹委員長

本委員会は「ロータリー財団委員会」水島委員長・「米山奨学委員会」水本委員長

「国際奉仕プロジェクト委員会」黒川委員長・「国際交流・青少年委員会」木下委員長で構成されており、コロナ禍での活動にかなり制約もあると思いますが、会員一丸となって奉仕活動を進めていきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

米山奨学委員会

水本 徹委員長

前年度のアクサ メイリアナ インタニさんに続き、2022年4月より新たにベトナム出身のグエン キム フンさんを当クラブ16代目の米山奨学生として迎え、2年間お世話をさせて頂くことになりました。グエンさんはとても明るく何事にも積極的に行動されますので、会員の皆様からのご指導をよろしくお願い致します。

ロータリー財団委員会

水島 洋委員長

4月9日の地区研修協議会で配られた資料の財団寄付目標に次年度から恒久基金寄付として30ドル/1人/年の通知がありました。

恒久基金寄付は従来ひとり1000ドルを寄付しベネファクターとして認証され、その数は2016年から6年間で年平均43人でした。

今回の変更は広く浅く寄付を募るといったことのようなのですが、従来の寄付額554万円が1365万円になり、811万円が積みあがることとなります。

私が疑問に思うのは、それだけ多額の金額を毎年積み上げる必要がどこにあるのか。

それは誰が喜ぶのか。誰のためになるのか。

恒久基金は一般基金と異なり利子、運用益のみが3年後に還流するようであるが、そんな無目的な寄付を募って意味があるのでしょうか。

8月25日の地区財団委員会の卓話で上記について質問し、その後の理事会で協議したいと思っています。

国際奉仕プロジェクト委員会

黒川 彰夫委員長

基本的に山本加奈子教授のラオス保健衛生活動の支援を継続して参ります。

国際交流・青少年委員会

木下 健治委員長

11月に留学生との交流会を予定しています。去年はZOOMで参加してもらって、リアルな交流はありませんでした。今年はコロナの状況によりますが、ひどくならないようでしたらぜひリアルで開催したいと考えています。

留学生の皆さんがどのように考えているのか、日本人とは違う新しい刺激も感じることができるので、リアルで開催して交流ができればと考えています。



《本日のお料理》



- ・ 棒棒鶏 サラダ仕立て
 - ・ 冬瓜と蝦米のスープ
- ・ 白身魚と春雨の大蒜蒸し
 - ・ 鶏のから揚げと海鮮春巻き
- ・ 茄子のピリ辛ソース煮
 - ・ 翡翠チャーハン
 - ・ フルーツポンチ